

種子島 沖永良部島 屋久島 喜界島 奄美大島 与論島

7つの個性をもつ島を楽しむ

01 Tanegashima
02 Yakushima
03 Amami Oshima
04 Kikajima
05 Tokunoshima
06 Okinoerabujima
07 Yoronjima

Enjoy!
Seven islands

01

種子島

Tanegashima



守ってほしい知ってほしい大切なこと

- 鹿児島空港から約40分
- 島内観光はレンタカーがオススメ
- ロケット打ち上げ時は宿泊場所をまず確保
- 24時間営業のコンビニは4軒
- 冬は意外と寒いので注意

近未来と歴史を感じるスポットが共存している種子島。東南端の海岸線に面している種子島宇宙センターは「世界一美しいロケット発射場」と呼ばれており、施設内のバスツアー見学も開催しています。島のあちこちに絶好のサーフスポットがあるので全国から移住してくれるサーファーが多く、マリンスポーツも盛んです。安納芋やナガラメ(トコブシ)、黒糖などのグルメも充実。日本で初めて鉄砲が伝来した地としても知られています。

02

屋久島

Yakushima



守ってほしい知ってほしい大切なこと

- 鹿児島空港から約40分
- お土産店でもエコバッグを持参
- 登山道から外れない
- 登山には携帯トイレを推奨
- 旅行日程は余裕を持って計画

03

奄美大島

Amami Oshima



守ってほしい知ってほしい大切なこと

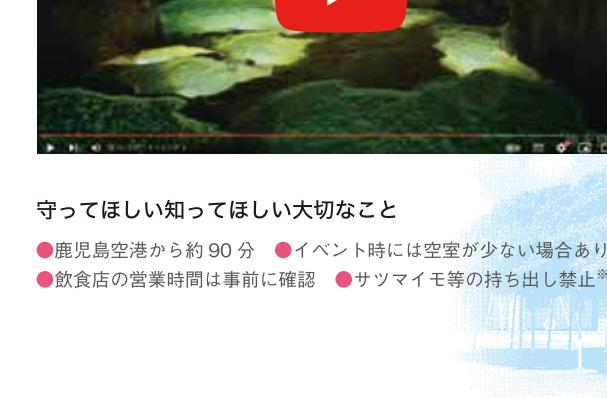
- 鹿児島空港から約80分
- 動植物の暮らしを乱さない
- ハブに注意(不用意に草むらに入らない)
- エコツアーガイドを活用する
- サツマイモ等の持ち出し禁止*

鹿児島本土と沖縄本島のほぼ中間に位置する奄美大島。多様性と希少性を併せ持つ自然が評価され、2021年に世界自然遺産に登録されました。マンゴーロープ林でのカヌー体験や野生動物に出会えるナイトツアーなどアクティビティが充実しています。島唄や八月踊り、本場奄美大島細などの伝統が今も色濃く残り、熱々の白飯に具材や薬味などをのせて鶏のスープをかけて食べる鶏飯(けいはん)は奄美を代表するおもてなし料理です。

04

喜界島

Kikajima



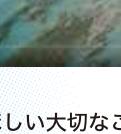
守ってほしい知ってほしい大切なこと

- 鹿児島空港から約70分
- オオゴマダラは捕獲禁止
- 足元の悪い岩場に注意
- 夏から秋にかけての台風注意
- サツマイモ等の持ち出し禁止*

05

徳之島

Tokunoshima



守ってほしい知ってほしい大切なこと

- 鹿児島空港から約90分
- ハブに注意(不用意に草むらに入らない)
- レンタカーは事前予約がオススメ
- アマミノクロウサギの飛び出し注意
- サツマイモ等の持ち出し禁止*

2021年に奄美大島と同時に世界自然遺産に登録された徳之島は、闘牛が盛んな島としても有名です。年間20回程度の闘牛大会が開催されており、1トンを超える牛と牛とのぶつかり合いは迫力満点です。母間の防波堤にあるハート型の穴「母間ハート」は、写真映え抜群の撮影スポットとして密かな人気。薄焼き卵でおにぎりを巻いたたまごおにぎりは、島民がこよなく愛するソウルフード。コンビニで購入できます。豊かな自然と素朴な南の島の文化が楽しめる、奄美群島で2番目に大きな島です。

06

沖永良部島

Okinoerabujima



守ってほしい知ってほしい大切なこと

- 鹿児島空港から約95分
- 百合ヶ浜の出現日は旅行前に確認
- 島内の最高制限速度は40キロ
- サツマイモ等の持ち出し禁止*

奄美群島の最南端にあり、沖縄本島まで約23kmの場所に位置している与論島。サンゴ礁が隆起してできた島で、白い砂浜と透明度の高い海は「東洋の真珠」ともいわれています。なかでも、条件が揃った時にしか姿を現さない「百合ヶ浜」の白い砂浜とエメラルドグリーンに輝く海はまるで地上の楽園。訪れる多くの観光客を魅了しています。また、地理的に沖縄県とも関係が深く、薩摩と琉球を融合した独自の文化が楽しめます。

07

与論島

Yoronjima



守ってほしい知ってほしい大切なこと

- 鹿児島空港から約95分
- 百合ヶ浜の出現日は旅行前に確認
- 島内の最高制限速度は40キロ
- サツマイモ等の持ち出し禁止*

※詳細については

「植物等の移動規制について」(植物防疫所)をご確認ください。

Enjoy!
Seven islands